

TOKYO働き方改革宣言

今まで曖昧にしてきた労働時間や有給に関するルールをしっかり見直し改善。より良い「ライフワークバランス」の実現を目指し、新ルールを確実に実行していくことで、より働きやすい職場環境づくりを目指します。

平成29年3月31日

株式会社フレイム

目標

《働き方の改善》時間外労働の抑制、より効果的な労働を実現すべく、働き方、労働時間に関するしっかりしたルールづくりをします。従業員の労働実態をきちんと把握、問題のある従業員に対しては面談するなど改善策を検討していきます。

《休み方の改善》休日、有給取得に関するルールをきちんと作り社員に浸透させます。誰もが有給をとりやすい環境をつくとともに、会社として効果的な有給のとり方も指導、提案していきます。

取組内容

《働き方の改善》タイムレコーダーを設置、今まで曖昧に考えていた労働時間というものを従業員にしっかり把握させる。だらだら長時間労働を改善、極力就業時間内というしっかりした目標を持たせ、プロダクティビティーの向上を目指す。定期的にタイムレコーダーをチェック、改善の見られない従業員に対しては面談して解決法を話し合う。

《休み方の改善》誰もが気兼ねなく積極的に有給休暇を取得できるよう、「最低でも月1有給」的なスローガン(仮)を設定、従業員に浸透させます。忙しい時でもしっかり効果的に休養がとれるよう、半日有給制度(午前取得、午後取得)を新たに設定、有効活用していくよう指導していきます。有給の消化具合を随時チェック、取得の指導をしていきます。